

平成30年度予算(案)

平成30年度予算は次表に定めるところによる。

1 歳入

(単位:千円)

科 目	本年度予算	前年度当初予算	差 額	説 明
負担金	44,000	59,000	△ 15,000	八戸市一般会計より
補助金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
繰越金	0	0	0	
歳入合計	44,000	59,000	△ 15,000	

2 歳出

(単位:千円)

科 目	本年度予算	前年度当初予算	差 額	説 明
謝礼	0	0	0	報償費
旅費	0	0	0	費用弁償、旅費
需用費	3,864	5,929	△ 2,065	バスマップ、等間隔運行リーフレット印刷経費等
役務費	30	32	△ 2	切手代、振込手数料
委託料	40,003	52,902	△ 12,899	八戸公共交通アテンダント活動事業、対象者を絞った各種MM事業等
使用料及び貸借料	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	
負担金及び補助金	103	137	△ 34	運行支援経費等
予備費	0	0	0	
歳出合計	44,000	59,000	△ 15,000	

平成30年3月27日

八戸市地域公共交通会議
会長 武山 泰

平成30年度事業費内訳

事業の名称	事業内容	全体 事業費	事業費内訳						備考
			需用費	役員費	委託料	負担金及び 補助金	報償費	旅費	
1-1 市内幹線軸 品質確保プロジェクト	(1)等間隔・共同運行チラシ・リーフレット作成経費 市営バスと南部バスの八戸駅線の等間隔・共同運行について、チラシ・リーフレットにより周知・広報することにより、八戸駅を利用する市民や観光客の更なる利用促進を図る。 チラシ5,000部、リーフレット15,000部(予定)	451	451						継続
	(2)等間隔・共同運行チラシ・リーフレット作成経費 再編する八太郎幹線軸(等間隔・市営バスと南部バスの共同運行)について、チラシ・リーフレットにより周知・広報することにより、八太郎幹線軸を利用する市民の更なる利用促進を図る。 チラシ20,000部(予定)	292	292						新規
1-2 複数交通モード 連携サービス提供プロジェクト	(3)公共交通サービスの案内用小冊子作成経費 10の日帰り路線バスパックなどお得で便利な二次交通商品を周知・広報するため、まとめて掲載した小冊子を作成する。 小冊子15,000部(予定)	821	821						継続
1-3 小規模需要対応乗合交通 運行プロジェクト	(4)深夜乗合交通チラシ・リーフレット作成経費 深夜乗合交通の利用を促すためのチラシ・リーフレットを作成する。チラシ1,000部、リーフレット5,000部(予定)	173	173						継続
1-4 交通ターミナル 乗継機能強化プロジェクト	(5)八戸中心街ターミナル周知用リーフレット作成経費 中心市街地の5箇所の停留所「八戸中心街ターミナル」について、リーフレットにより周知・広報することにより、路線バスを利用する市民や観光客の更なる利用促進を図る。 リーフレット8,000部(予定)	175	175						継続
	(6)ターミナルツールラック路線図修正業務 運行路線変更に伴い、交通拠点に設置しているターミナルツールラックの路線図を修正し、更なる利便性を図る。3箇所(本八戸駅・はっち・旭ヶ丘営業所)	380		380					新規
2-2 「育てる公共交通」実践・普及 プロジェクト	(7)バスさんぽ印刷費 路線バス沿線の魅カスポットをバスで巡る「お出かけ機会」を提案するための小冊子「バスさんぽ」を印刷・配布する。 2種類 各5,000部(予定)	443	443						継続
	(8)小学生向け公共交通出前教室MM業務 子ども達にバスを身近な交通機関として認識していただき、将来の利用者獲得に向けた取り組みを行うと共に、子ども達が安心してバスを利用していただけるよう、小学生を対象とした「出前教室」「お出かけ支援」を実施する。	608		608					新規
3-1 「情報ツール」利用拡大 プロジェクト	(9)H31年度版バスマップ印刷費 バスマップを作成し、転入者・利用者等へ作成・配布し、分かりやすいバス利用環境を整備する。 13,000部(予定)	1,440	1,440						継続
	(10)「キャンバス4」企画乗車券・チラシ印刷費 大学生向け企画乗車券「キャンバス4」の乗車券、利用を促すためのチラシを作成する。 乗車券3,000部、チラシ2,000部(予定)	64			64				継続

4-1	路線バス運賃体系再構築プロジェクト	(11)まちバス300企画乗車券・チラシ印刷費 路線バス上限運賃化制度の一環として実施している企画乗車券「まちバス300」の発行を支援し、初乗り運賃が上がった近距離帯の利用者離れを防止しながら、中心街の回遊性を高め、バスの利便性向上を図る。 乗車券6,000部、チラシ3,000部(予定)	39				39			継続
1-4 2-2 2-3	交通ターミナル乗継機能強化プロジェクト 「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト 公共交通「みんなでかいぜん」プロジェクト	(12)八戸公共交通アテンダント活動事業 公共交通の乗継環境の改善と利用促進を図ることを目的として、八戸駅やバス車内、バス停にアテンダントを配置し、市民及び観光客等を対象として、目的地と移動手段をトータルで案内するとともに、公共交通の利用促進・PR活動を実施する。	34,000			34,000				継続
2-1 2-2 4-5	「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト 「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト 公共交通における人材確保支援プロジェクト	(13)バスのお仕事周知促進事業 高頻度運行を実現している市内幹線軸の品質維持のため、バスに対するイメージの向上による運転士確保と利用促進を目的として、女性や若年層を対象に路線バスの仕事の内容のPRすると共に、運転体験会を含めた業務説明会を開催する。	1,613			1,613				継続
2-1 2-2 3-1	「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト 「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト 「情報ツール」利用拡大プロジェクト	(14)対象者を絞った各種MM事業 (1)学校教育での定着の検討、中学生を対象としたMMの実施 (2)地域と連携したMMの実施 (3)既存バス網を活用した「日帰り企画乗車券」等の販売支援・促進業務の実施 (4)高齢者向けMM	3,402			3,402				継続
	事務費	振込手数料、印紙代、切手代、封筒代	99	69	30					
総合計			44,000	3,864	30	40,003	103	0	0	

実施校

八戸市立白鷗小学校

実施学年（児童数）

3 学年（55 名）

実施日

平成29年10月20日 実施

実施主体

八戸市地域公共交通会議（八戸市）

協力バス会社

八戸市交通部

取り扱い単元

総合学習

立ち寄り場所

八戸ポータルミュージアムはっち

実施概要

- ◆座学
「公共交通」「白銀地区にある公共交通」
「くらしに欠かせないバスの話」
「バスの乗り方とマナー」
- ◆路線バス乗車体験

八戸市は「公共交通」を未来に向けて繋ぐ活動をしています。
その一つが、この出前教室です。





学校外活動には、様々な学びや経験の機会があるようです。
例えば「つり革」につかまることも。。

バス停で待つ。
「待つ」ことも学習になったようです。



実施校	八戸市立白銀小学校
実施学年（児童数）	3学年（32名）
実施日	平成29年10月30日 実施
実施主体	八戸市地域公共交通会議（八戸市）
協力バス会社	八戸市交通部
取り扱い単元	総合学習
立ち寄り場所	鮫地区散策
実施概要	◆座学 「公共交通」「白銀地区にある公共交通」 「くらしに欠かせないバスの話」 「バスの乗り方とマナー」「降車ボタン体験」 ◆路線バス乗車体験

まちに欠かせないバス交通。
これは、社会基盤でもあります。



路線バスを増便してもらい乗車体験を行いました。



路線バスの車内で、このような経験はめったに出来ません。
バスについて明るいイメージを持ってもらうことも務めです。



実施校

八戸市立鮫小学校

実施学年（児童数）

3 学年（53名）

実施日

平成29年11月16日 実施

実施主体

八戸市地域公共交通会議（八戸市）

取り扱い単元

総合学習

協力バス会社

八戸市交通部

立ち寄り場所

八戸市庁展望回廊

実施概要

- ◆座学
「公共交通」「鮫地区にある公共交通」
「くらしに欠かせないバスの話」
「バスの乗り方とマナー」
- ◆路線バス乗車体験

座学では、児童の皆さんにも『考えてもらう』ことを意識してスライドを作成しています。



きちんと整列して待ち、順番に乗車しました。





降車ボタンの体験は、
バス移動の往復で2人しか体験できませんので
降車ボタン体験セットを活用します。

実施校	八戸市立根岸小学校
実施学年（児童数）	6 学年（72名）
実施日	座学：平成29年9月1日 実施 乗車：平成29年9月13日 実施
実施主体	八戸市立根岸小学校
取り扱い单元	総合学習（？）八戸を知る
協力団体	八戸市、八戸公共交通アテンダントはちこ、 NPO法人まちもびデザイン
協力バス会社	八戸市交通部、岩手県北自動車（南部バス）
立ち寄り場所	各グループによる（櫛引八幡宮など）
実施概要	◆座学 「根岸地区にある公共交通」「くらしに欠かせないバスの話」「バスの乗り方とマナー」 『バスでのお出かけを計画』



八戸公共交通アテンダントはちこの
皆さんとも連携して実施することもあります。

グループワークの様子
時刻表を確認して、お出かけプランを作成





グループワークの様子
行程も書き出し、お出かけの準備を行いました。

実施校

八戸市立函南小学校

実施学年（児童数）

3 学年（30名）

実施日

座学：平成29年9月11日 実施

乗車：平成29年9月22日 実施

実施主体

八戸市立函南小学校

取り扱い单元

八戸を知る

協力団体

八戸市、八戸公共交通アテンダントはちこ、
NPO法人まちもびデザイン

協力バス会社

岩手県北自動車（南部バス）

立ち寄り場所

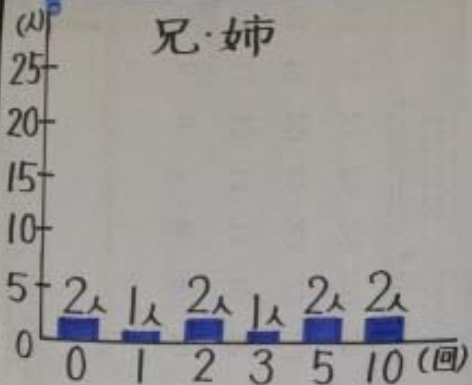
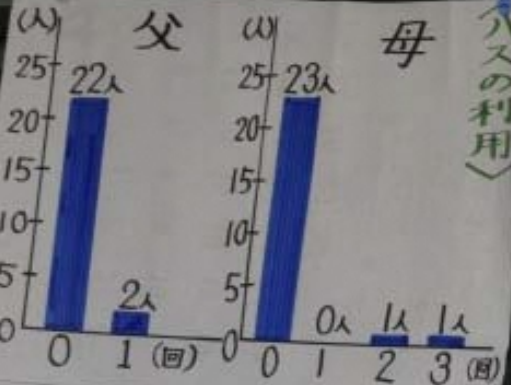
各グループによる（八食センターなど）

実施概要

◆座学

「八戸市のバス事業を知る」「くらしに欠かせないバスの話」「バスの乗り方とマナー」
『運転手さんに話をきく』

授業の一環でのアンケート調査
 家族へバスの利用についてアンケート調査を実施



- のみ会 ○買い物
 ○しゃちょうの帰リ ○市役所へ行く
 △車がある 19人 △車がある 20人
 △お金がかかる 2人 △お金がかかる 1人
 △ふん 1人 △車にのせてもらう 1人
 △歩く 1人

- 買い物やあそび 4人
 ○通学 3人
 ○学校行事 1人
 ○父母の車にのせてもらう時 1人
 △遠くへ行かない 2人

- 買い物 4人
 ○町へおでかけ(公会堂など) 2人
 ○通院 2人
 ○旅行 1人
 △車がある 13人
 △待つのがいや 1人
 △行く所がない 1人

月予定

路線バスの運転手さんからのお話も聞きました。
バスのお仕事を知る機会になりました。



降車ボタン体験セットを活用している様子



実施校

八戸市立新井田小学校

実施学年（児童数）

5 学年（**名）

実施日

座学：平成29年10月25日 実施

乗車：平成29年10月31日 実施

実施主体

八戸市立新井田小学校

取り扱い单元

八戸を知る

協力団体

八戸市、八戸公共交通アテンダントはちこ、
NPO法人まちもびデザイン

協力バス会社

八戸市交通部、岩手県北自動車（南部バス）

立ち寄り場所

各グループによる（八戸酒類など）

実施概要

◆座学
「新井田地区にある公共交通」「くらしに欠かせないバスの話」「バスの乗り方とマナー」
『バスでのお出かけ計画作成』

バスマップも立派な教材になります





講師1人で2グループを担当しました。
紙芝居形式で説明をすることもあります。

どの学年でも集中して聞いてくれる印象です。

